

ツキノワグマのエサとなる堅果類の豊凶調査の結果をお知らせします

1 概 要

- ・近年、県内においてもツキノワグマの目撃件数が増加しています。クマにとって堅果類の実（いわゆるドングリ類）は冬眠前の秋の主要な栄養源となっており、堅果類が凶作になるとエサを求めてクマが活動範囲を拡大することが知られています。
- ・令和8年度の堅果類の豊凶調査を8月下旬から9月上旬に実施したため結果を報告します。
なお、本県での調査の実施は、今年度が初めてになります。

2 調査結果

コナラ、ブナ、ミズナラの3樹種を対象に、県内7地域（浜松市天竜、川根本町、静岡市井川、毛無山（富士宮市）、富士山南麓、小山町、伊豆地域）で目視による調査を実施し、結実状況に応じて、豊作、並作、不作、凶作の4段階で判定しました。

○調査樹種の県内におけるエサとしての資源量

コナラ	県内全域に分布し、資源量は豊富
ブナ ミズナラ	中部地域（南アルプス）や富士山、伊豆地域の天城山系等の高標高域に局所的に分布し、分布域ではブナの資源量が多い

地域別・樹種別の結実状況は次のとおりとなります。

地 域	コナラ	ブナ	ミズナラ
県内全域	並作	並作	並作
西部地域（天竜）	豊作	凶作	凶作
中部地域（川根本町、井川）	不作	不作	不作
東部地域（毛無山、富士山南麓、小山町）	並作	並作	並作
伊豆地域 ※クマの分布なし	不作	豊作	－

3 総評

- ・県内全域では、調査を実施した3樹種とも「並作」となりました。
- ・西部地域では、広く分布するコナラは「豊作」、奥山にわずかに分布するブナ、ミズナラは「凶作」となりました。
- ・中部地域や東部地域の一部（毛無山）では、結実状況が良くない結果となりました。
- ・堅果類の結実状況が良くない地域では、他のエサを求めてクマの活動範囲が拡大する可能性があります。民家付近では、柿や栗などの適切な管理をお願いします。

4 県民の皆様へのお願い

(1) クマに出会わないための対策

- ・山に入る時は、複数人で行動し、鈴やラジオなど音が出るものを携行して自分の存在をアピールしてください。見通しの悪い場所では、大きな声を出すなど特に警戒して行動してください。
- ・クマの活動が活発になる早朝や夕方の入山、暗がりの行動は避けてください。
- ・雨風の強い日や沢沿いはクマが人間に気づきづらいので注意してください。

(2) クマを集落などに寄せ付けない対策

- ・クマを誘引する原因となる放任果樹(柿、栗など)、生ゴミ、農作物、捕獲した鳥獣(シカ、イノシシなど)、オイル・ペンキ類、飼料などは適切に管理・処分してください。
- ・山と接している藪などを刈り払い、見通しを良くすることで、集落周辺にクマが潜みやすい環境をなくしてください。

(3) 万が一クマに出会ってしまったら

- ・刺激しないように落ち着いて、背を向けずに静かに後ずさりしてください。(背を向けて走って逃げると追いかけてくる習性があり、とても速いので逃げ切るのは難しい)
- ・襲われそうになったら、うつ伏せになって頭と首を守ってください。
- ・クマ撃退スプレーも有効なので、山に入る時は携行し、射程距離で噴射してください。
- ・子グマの近くには親グマがいる可能性が高いので、周囲に注意しながらできるだけ早く遠ざかってください。

5 静岡県内のクマの目撃情報

- ・県ホームページでクマの目撃情報を公開しています。レジャー等でお出かけになる際には事前に御確認ください。

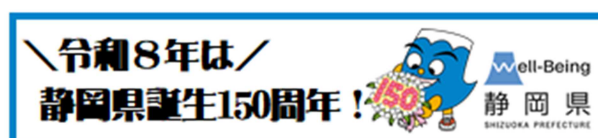
<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/shizenkankyo/wild/1017680.html>

【過去3年間のクマの目撃件数】

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R6	4	9	36	32	13	13	107	19	10	9	5	4	2	156
R7	7	4	13	21	16	8	69	38	43	30	11	4	5	200
R8	8	33	19	16	12	11	106	—	—	—	—	—	—	106

※統計を開始した平成25年度以降、令和7年度の200件の目撃件数が過去最多

参加者募集告知 ・ 催事等の当日取材 ・ 実施事業等の紹介 ・ **調査結果等の公表**



令和 8 年度堅果類豊凶調査の結果

(静岡県くらし・環境部環境局自然保護課)

1 概 要

ツキノワグマの秋の主要なエサとされている堅果類（いわゆるドングリ類）の豊凶調査を実施したため結果を報告する。

2 調査時期

令和 8 年 8 月下旬から 9 月上旬

3 調査樹種

コナラ、ブナ、ミズナラ

4 調査内容

ツキノワグマ出没予測マニュアル（独立行政法人森林総合研究所 2011 年）を参考に調査及び豊凶判定を実施した。

【調査方法】

- ①県内 7 地域で目視により樹冠全体及び枝の結実状況を確認
- ②結実状況に応じて、豊作、並作、不作、凶作の 4 段階で判定

【調査地域及び調査本数】

地域	調査地点	コナラ	ブナ	ミズナラ	計
西部地域	浜松市天竜	11	3	4	18
中部地域	川根本町	10	4	4	18
	静岡市井川	1	7	6	14
東部地域	毛無山(富士宮市)	3	—	3	6
	富士山南麓	3	4	6	13
	小山町	4	5	3	12
伊豆地域	伊豆地域	10	4	—	14
計		42	27	26	95

5 調査結果

- ・県内全域では、調査を実施した3樹種とも並作となった。
- ・西部地域では、広く分布するコナラは豊作、奥山にわずかに分布するブナ、ミズナラは凶作となった。
- ・中部地域は3樹種とも不作となり、全体的に結実状況が良くない結果となった。
- ・東部地域は調査地点によりばらつきがあり、毛無山周辺では結実状況が良くないが、富士山南麓、小山町周辺では概ね良好であった。
- ・伊豆地域では、広く分布するコナラが不作となったが、天城山周辺に分布するブナは豊作となった。(伊豆地域にはクマは分布していない)

【県内全域・樹種別】

地域	コナラ	ブナ	ミズナラ
県内全域	並作	並作	並作

【地域・樹種別の豊凶判定】

地域	コナラ	ブナ	ミズナラ
西部地域	豊作	凶作	凶作
中部地域	不作	不作	不作
東部地域	並作	並作	並作
伊豆地域	不作	豊作	—

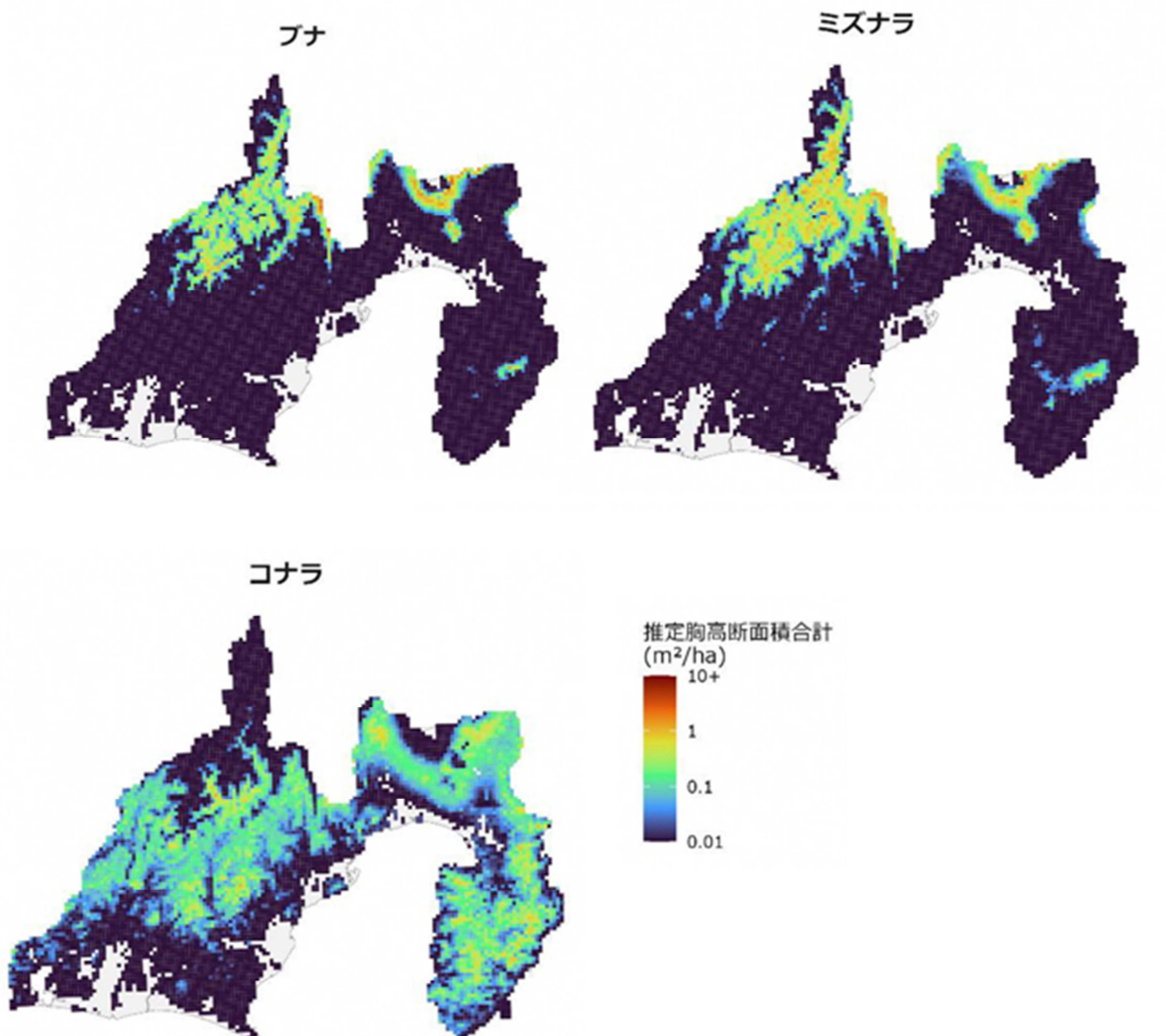
【調査地点別の豊凶判定】

地域	調査地点	コナラ	ブナ	ミズナラ
西部地域	浜松市天竜	豊作	凶作	凶作
中部地域	川根本町	不作	並作	不作
	静岡市井川	不作	凶作	並作
東部地域	毛無山(富士宮市)	不作	—	凶作
	富士山南麓	並作	並作	豊作
	小山町	豊作	並作	凶作
伊豆地域	伊豆地域	不作	豊作	—

【参考】県内のコナラ・ブナ・ミズナラの餌資源ポテンシャルマップ

- ・秋のクマの出没予測の基礎資料とするため、県内の堅果類の餌資源量の調査を令和7年度に実施した。（令和7年度ツキノワグマ生息環境調査）
- ・調査データと環境要因の統計モデルに基づき推定した結果、静岡県内では、コナラは中低標高域に広く分布している一方で、ブナ、ミズナラは県中部から東部の標高の高い山間部に集中して分布しており、餌資源量は、コナラ、ブナの資源量が多い結果になった。

【BA（胸高断面積合計）予測値に基づく樹種別の餌資源ポテンシャルマップ】



※餌資源ポテンシャルマップは、先行研究と現地調査等から推定した堅果類の分布及び資源量のポテンシャルをマップ化したものであり、各年の豊凶調査の結果を反映したものではない。